



たかしま takashima

広報たかしま 2006.9.1発行

Takashima 2006 September No.26



巨大キャンパスに 収まりきらない 平和への願い

【「キッズゲルニカin高島」にて】

CONTENTS 目次

それはメタボリックシンドロームかも！	2～5
タウンピクス	6～12
市長日記・シリーズ環の郷	13
教育委員会Information	14・15
みんなで子育て、親育ち！地域で子育て、親育て！	16・17
まちネタ写真館	18・19
健康生活してますか？	20・21
そうだ、図書館に行こう！	22・23
みんなのページ	24・25
情報お知らせ版	26～29
文化情報	30・31
病院・警察	32
窓口・納税	33
行事カレンダー	34・35

9月号
平成18年



Home Page Address
<http://www.city.takashima.shiga.jp>
Mail Address
t-info@city.takashima.shiga.jp

発行・編集 高島市役所企画部秘書広報課
〒520-1592 滋賀県高島市新堀町1-6番565番地 ☎074925-8130
高島市ホームページ <http://www.city.takashima.shiga.jp>
高島市メールボックス t-info@city.takashima.shiga.jp

高島市 歴史散歩

No.21

田中城跡と田中吉政

安曇川町田中の上寺地区の裏山に所在する田中城跡は、古くから「上寺城」「上ノ城」などと称され、現在も多くの曲輪跡、土塁、堀跡などが良好な状態で残っている中世山城跡の一つとして知られています。この田中城跡の位置には、もともと「高島七力寺」の一つで松蓋寺と呼ばれる天台寺院が存在しており、城はその寺院遺構を一部使用する形で建てられたようです。

田中城がいつごろ築造されたのかは定かではありませんが、織田信長の経歴を記した『信長公記』には、元龜元年(1570)、越前の朝倉義景攻略のため、湖西を北上して若狭から敦賀へ向かっていた信長が、「高島の田中の城」に泊まったという記述があり、

り、この「田中の城」が田中城のことであると推定されています。田中城の城主と考えられているのは田中氏で、その一族では織田・豊臣・徳川に仕えた戦国武将・田中吉政の存在が知られています。吉政は『徳川十五代史』をはじめ、種々の資料で高島郡田中の出身と伝えられており、初めは母の出身地の関係で織田信長の配下である湖北の宮部氏に仕え、中国攻め等に参加しています。その後、秀吉の命で、秀吉の後継者とされたおいの豊臣秀次の重臣となり、秀次の領地である近江八幡の町づくり尽力しました。秀次の死後は秀吉に仕え、天正16年(1588)三河岡崎城を与えられ、さらに関ヶ原の合戦では東軍(徳川方)



田中城跡に建つ松蓋寺観音堂

について働き、慶長6年(1600)には筑後国32万石の領主として柳川城に入りました。ここでは筑後川の水路工事を始めとする土木工事や有明海沿岸の干拓による新田開発などに手腕を発揮したと伝えられています。

(文化財課)



ゆっくり、じっくり高島の豊かな自然に生まれ、たわわに実った稲穂が頭を垂れます。(今津町日置にて)

編集後記

▼空に届けとばかりに葉を広げていた稲も、いつの間にか頭を垂れ、季節の移りを知らせてくれます。この季節、賞けるような青空と黄金色に輝く稲穂、真っ赤な彼岸花が高島の豊かな自然を描きます。▼今月の表紙は、7月27日から30日までの4日間、藤樹の里文化芸術会館で行われた「キッズゲルニカin高島」の様子をご紹介します。平和を願いピカソが描いた「ゲルニカ」(1937年制作)と同じサイズ(35m×78m)のキャンパスに、平和をイメージした絵を子どもたちが描くというプロジェクトに、市内外から約60人の小・中・高校生が参加しました。用意された絵の具は赤、青、黄色の三原色のみ。しかしこの3色は、子どもたちのイマジネーションにより様々な色となって筆先から吹き出し、真っ白な巨大キャンパスを彩ります。できあがった作品を見ると、まずその迫力に圧倒され、そしてその豊かな表現力と創造力を見るものに感動を与えてくれます。一枚の大きな絵を完成させるというプロセスを通じて、子どもたちは何を学び、何を得たかと私たちはつい性急に成果を求めがちですが、子どもたちの心の中で芽吹いた種をゆっくりと育ててあげる。そんな気持ちを持ちたいものです。

(広報担当)

